



2021年  
1月12日  
No.A20-09

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2020年12月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップ・ミーティング

- ・12月15日(火)、田中 浩一郎 慶應義塾大学教授「2020年米大統領選挙を受けたイラン情勢の展開」(於：オークラ東京)



#### <要旨>

講師より、米大統領選挙を受けたイラン情勢の今後の展開について、特にイラン・米両国の視点と立場を中心に分析がなされた。また、トランプ政権末期の対イラン政策の見通し、次期米政権のイラン核合意を巡る対応、来年のイラン大統領選挙等について考察がなされた。

#### (2) 中東情勢オンライン講演会

- ・12月14日(月)、小林 利典 駐スルタン・オマーン国特命全権大使「オマーン事情～新国王の下で何が起きつつあるのか～」(Zoom形式)

#### <要旨>

大使より、オマーンの概況を踏まえた上で、特に2020年1月にハイサム国王が即位して以

降の同国を取り巻く情勢について、サウジ・イラン・イスラエル等の周辺主要国との関係を含めた内政・外交課題を中心に詳しく説明された。質疑では、コロナ禍での経済・社会状況の展望や地域外交におけるオマーンの役割等について多数の質問が出た。



#### (3) 中東情勢分析発表会

- ・12月4日(金)、研究員 高尾賢一郎・青木健太「コロナ禍の中東政治経済」(Zoom形式)



#### <要旨>

サウジアラビアでコロナ禍を通じて浮かび上がった観光政策や経済政策などの内政課題、

またイスラエルやアメリカとの関係など、現下の外政課題について確認し、今後の展開について検討された。



### <要旨>

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大、および米国からの経済制裁による経済状況の悪化がイランの内政・外政に与えた影響について分析と評価をした。そして、米大統領選挙を経ての今後の展望について検討した。

## 2. 中東調査会の活動

### (1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2020年12月号 (2021年1月12日付)
  - 1. モロッコ：イスラエルとの国交正常化に対する国内での反発
  - 2. イラン：JCPOA 合同委員会が目立った進展なく閉会
  - 3. トルコ：東地中海問題でEU 理事会がトルコへの追加制裁を決議
  - 4. イラク：対トルコ関係に進展
  - 5. アルジェリア：ドイツで療養中のタブーン大統領が帰国
  - 6. イスラエル：国会の解散、3月総選挙へ
  - 7. イエメン：統一政府の樹立と治安状況
- ※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

### (2) 中東かわら版の発行

- No.110「イラン：「制裁解除とイラン国民の利益保護のための戦略的措置」法案の承認とその意味」(研究員 青木健太、12月7日)
  - No.111「GCC：イラン人核物理学者の殺害に対する反応」(研究員 高尾賢一郎、12月9日)
  - No.112「イエメン：統一政府樹立を目指す「リヤド合意」の進捗」(研究員 高尾賢一郎、12月11日)
  - No.113「モロッコ・イスラエル：モロッコとイスラエルが国交正常化に合意」(研究員 高橋雅英、12月11日)
  - No.114「アフガニスタン：ターリバーンとの和平交渉が一時休止」(研究員 青木健太、12月14日)
  - No.115「クウェイト：首長崩御、議会選挙を経ての新内閣誕生」(研究員 高尾賢一郎、12月17日)
  - No.116「トルコ：米国によるトルコへの制裁発動」(研究員 金子真夕、12月17日)
  - No.117「イラン：ハーメネイー最高指導者が制裁への対処方針に言及」(研究員 青木健太、12月17日)
  - No.118「アフガニスタン：第2期ガニー内閣(暫定)が取り敢えず始動」(研究員 青木健太、12月22日)
  - No.119「エジプト：下院・代議院選挙の最終結果」(上席研究員 金谷美紗、12月23日)
  - No.120「イスラエル：第23期クネセトの解散、再び総選挙へ」(上席研究員 金谷美紗、12月24日)
- (<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

### (3) その他の活動 (外部講演会)

- ・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく B/国際社会と地域 1」へ 当会研究員が出講した。
- ①「紛争として見る「アラブの春」」(上席研究

員 金谷美紗、12月2日)

- ②「中東の国家建設：長期化するアフガニスタン紛争と国家建設」(研究員 青木健太、12月9日)
- ③「中東における政治体制：ハイブリッド(折衷的)な国家建設の事例」(研究員 青木健太、12月16日)
- ④「中東の紛争とテロリズム：誰がなぜテロ行為を起こすのか？」(協力研究員 高岡豊、12月23日)

・下記市民講座へ当会研究員が出講した。

- ①公益財団法人としま未来文化財団が開講するちとせ橋コミュニティ塾第12回「世界は今「中東情勢を知る」(2)」(研究員 高尾賢一郎、12月2日)
- ②愛知県立大学が開講する科目「研究各論(フランス語圏政治・経済)」にて「マグリブ諸国の経済と天然資源」(研究員 高橋雅英、12月14日)

### 3. その他

(1) 要人往来

- ・2日、菅首相はイスラエルのネタニヤフ首相と電話会談した。
- ・9日、茂木外相はチュニジアを訪問し、ナフティ外務・移民・在外チュニジア人大臣付国務長官と会談した。
- ・9日、茂木外相はチュニジアのサイード大統領、及び、ムシーシー首相を表敬した。
- ・15日、梶山経産相と鷺尾外務副大臣が、「日・サウジ・ビジョン2030」第5回閣僚会合にオンライン出席した。
- ・17日、鷺尾外務副大臣が第20回環インド洋連合(IORA)閣僚会合にオンライン出席した。
- ・22日、菅首相はアラブ首長国連邦のムハンマド・アブダビ皇太子と電話会談した。
- ・28日、茂木外相はエジプトのシュクリ外相と

電話会談した。

(2) 外務省人事

- ・12月2日(水) 発令  
アジア大洋州局長 船越健裕  
官房副長官補 滝崎成樹
- ・12月7日(月) 発令  
サウジアラビア大使 岩井文男

### 4. 今後の予定(2021年1月)

- ・1月14日(木)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(秋葉 剛男 外務事務次官「2021年の日本外交の展望」) \*法人会員限定
- ・1月21日(木)、15:00~16:30、中東情勢オンライン講演会(中島 明彦 駐アラブ首長国連邦特命全権大使「UAEの情勢と今後の動向(仮題)」)(Zoom形式)

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。